

# 平成29年度ふくおか「ふるさと寄附金」 活用状況報告書

ふるさと寄附金へのご協力ありがとうございました。



福岡県知事 小川 洋

この度は、多くの皆様から多大なご寄附を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成29年度は、延べ1,420人の方から20,201,406円のご寄附をいただきました。

今回、寄附金の活用状況について、ご報告させていただきます。

「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して、県民生活の「安定」「安全」「安心」の向上に全力を尽くしてまいりますので、今後とも福岡県を応援していただきますようお願いいたします。

平成29年度にいただきました寄附金の受け入れ状況は、下表のとおりです。

	活用方法	件数(件)	寄附額(円)
	福岡県の施策全般 「県民幸福度日本一」の福岡県づくりに向けた取組み全般	503	10,735,101
1	バイオ・メディカル産業の振興	82	841,000
2	国内外の観光客の誘致拡大	53	525,000
3	県産農林水産物の販売・消費の拡大	75	750,000
4	子どもの貧困対策	274	2,775,000
5	いじめや不登校等への対応	86	855,000
6	国際的視野を持つ人材の育成	26	450,000
7	障がいのある方の収入向上支援	53	530,000
8	NPOの地域活動を応援	8	110,000
9	世界遺産等の文化資源の保存・活用及び継承	39	425,000
10	ジュニアアスリート指導者の育成強化	21	210,000
11	ふくおかスポーツ振興プロジェクト	15	150,000
12	アジア若者文化交流の推進	7	61,000
13	暴力団の壊滅に向けた対策の推進	35	350,000
14	廃棄物の適正処理の推進	8	80,000
15	豊かな自然と生物多様性の保全	133	1,340,000
	その他	2	14,305
	合計	1,420	20,201,406

寄附金の活用状況について、一例をご紹介します。



福岡県  
マスコット  
キャラクター  
エコトン

## 1. バイオ・メディカル産業の振興

- ・産学官による「バイオ産業拠点推進会議」を推進組織とし、バイオ関連企業の一大集積拠点の形成による久留米地域を中心とした産業振興を目指し、製品・技術開発に対して助成しました。（研究開発助成数 育成型5件、実用型3件）
- ・また、理化学研究所や九州大学等の持つ技術やこれまでの研究成果を活用した、革新的な機能性表示食品の開発や核酸医薬の共同研究を開始しました。



## 2. 国内外の観光客の誘致拡大

- ・“とんこつラーメン発祥の地 福岡”をキーワードに、観光地としての様々な魅力をWebサイトやSNS等で海外に広く情報発信しました。
- ・『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の世界遺産登録を契機として「ご来福」をキャッチコピーに古代をテーマとする福岡県内の観光推進キャンペーンを実施しました。（観光パンフレットの作成、WEBサイトの開設、福岡市内におけるPRイベントの実施、日本最大級の観光博覧会「ツーリズムEXPO ジャパン」へのブース出展）



## 3. 県産農林水産物の販売・消費の拡大

- ・首都圏、関西圏、県内等において博多和牛や天然魚、あまおう等を使ったフェアを開催しました。（開催店舗数 延べ672店舗）
- ・県産食材や産地に関する情報誌「ふくおかよかもん通信」や、フェアの概要や採用された食材に関する情報誌「食聞録」を、中食・外食事業者や産地に提供しました。
- ・「あまおう」の認知拡大及び輸出の加速化を図るため、米国の4都市で販売促進フェアを開催しました。また、みかんの販路開拓に取り組み、米国本土に初めて輸出し、1都市で販売促進フェアを開催しました。
- ・ドイツで開催された国産園芸見本市に出展し、植木や八女茶、錦鯉、八女石灯籠等県産品を一体的にPRした結果、植木は商談に繋がり、石灯籠は6基の受注に繋がりました。





## 8. NPOの地域活動を応援

- ・ NPO・ボランティアセンターに相談員を配置し、事業企画、資金調達等専門的な相談に対応しました。
- ・ 税理士による会計・税務の個別相談会を開催しました。
- ・ 組織運営力向上のためのワークショップ研修を実施しました。



## 9. 世界遺産等の文化資源の保存・活用及び継承

### ・ 明治日本の産業革命遺産

県と県内3市で構成する連絡会議において、世界遺産としての価値を紹介するパンフレット、チラシを作成するとともに、構成資産等をめぐるウォーキングイベント、バスツアーを開催しました。

### ・ 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

登録決定後の情報発信として、登録記念式典、シンポジウム（京都・東京）パネル展の開催や、ポスター・パンフレットの作成、海の道むなかた館における大型映像設備の整備といった広報活動を行いました。



## 10. ジュニアアスリート指導者の育成強化

- ・ 県内の優れた指導者による指導法を競技団体で共有する取組みを実施した25競技団体に指導者の活動経費を助成しました。
- ・ 使用する競技用具の性能や操作性によって競技結果が左右されないよう用具を整備した1競技団体に購入費を助成しました。



## 11. ふくおかスポーツ振興プロジェクト

- ・ ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたキャンプ地の誘致に取り組みました。（キャンプ受入市町村数 11市町）
- ・ キャンプ地誘致や対象国との交流事業を推進する市町村のホストタウン登録に取り組みました。（登録市町村数 10市町）



## 12. アジア若者文化交流の推進

・多言語ウェブサイト「アジアンビート」により、8言語で、文化、観光、食、県産品といった本県の魅力を若者目線で発信するとともに、FACo や現地雑誌等と連動した「Kawaii 大使コンテスト」をはじめとするアジア若者文化交流イベント等を開催しました。



## 13. 暴力団の壊滅に向けた対策の推進

・県民の安全確保に万全を期した上で、暴力団に対する取締りを徹底し、工藤會中枢幹部等多数を凶悪事件や資金源犯罪で波状的に検挙したほか、暴力団組員の社会復帰対策を強化する等、総合的な暴力団対策を推進しました。



## 14. 廃棄物の適正処理の推進

・不法投棄された廃棄物の種類や場所等をマッピングして情報を蓄積・分析するシステムを導入し、効果的な監視ルートの設定、不法投棄の未然防止や早期対応に活用しました。



## 15. 豊かな自然と生物多様性の保全

・英彦山及び犬ヶ岳地区で増加したシカによる食害から絶滅危惧植物を保護するため、ニホンジカの捕獲等を実施しました。(シカ捕獲頭数 414 頭)  
・絶滅危惧植物の種子の採取、冷凍保存、苗の植え戻し等を実施しました。



## ふくおか「ふるさと寄附金」トピックス

### ・平成29年7月九州北部豪雨被災地関連の県産品枠の設定

豪雨災害で大きな被害を受けた地域で生産された県産品や復興を願ってデザインされた県産品を被災地応援枠として設定



### ・平成30年度 お礼の品の拡充・見直しを行いました。



※写真はお礼の品の一部です。

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県庁総務部税務課管理係

電話：092-643-3062 FAX：092-643-3069

電子メール：furusatokifukin@pref.fukuoka.lg.jp

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

福岡県 ふるさとチョイス

検索